



# 世田谷稲門会会報

平成29(2017)年12月17日  
**第66号**  
 発行人集 世田谷稲門会 明一 一夫子行男子  
 横井 田並口島子内林果 吉俊浩邦信秀昭俊  
 小寺兼大若 鷹 林 馨 (はやし かおる)  
 事務局 神奈川県川崎市中原区新丸子東  
 3-1100-12 M2209  
 TEL/FAX 044-433-9202  
 林 馨 (はやし かおる)

## 平成30年新春懇親会

### ソプラノ歌手KEIKOさんを迎えて

1月27日(土) 午前11時から

青山アイビーホールにて

平成30年の新春懇親会は表参道・青山のアイビーホールにて開催予定です。

第一部は歌手のKEIKOさんをお迎えして歌曲を楽しみます。

第二部は美味しい料理と美酒で仲間たちと楽しいひと時を過ごしましょう。楽しい抽選会も予定しています。

会費は8000円です。

皆さまお誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

会場は東京メトロ表参道駅B3出口から徒歩5分

### 出演者の紹介



海外でも活躍しているソプラノ歌手・KEIKO(村上けい子)さん出演頂く事になった。KEIKOさんは二

期会オペラ研修所を経て、イタリアに留学し、現地でオペラ出演など数多く出演し各地で活躍、更にチェコ、オーストリア公演、カーネギーホールなどにも出演しその実力を高く評価されている。

また、各種のコンテストで数多くの入選・入賞を果たしている。国内では一流ホテルでのダイナミッシュにも数多く出演している。

その芸域はスペイン&ラテン音楽や愛と情熱のイタリア&ラテンにその魅力が溢れている。

新春懇親会で披露するのはスペイン&ラテンの名曲「アマポーラ」や「アメージンググレース」それに日本の名曲で国民的人気曲である「見上げてごらん夜の星を」などが予定されている。

どうぞご期待ください。(副会長・鈴木 宏治)

## 雨の稲門祭

平成29年10月15日(日)、稲門祭(ホームカミング・デー)が開催された。今年は生憎の雨で、気温も上がらず、来場客が来るのかどうか心配される中での開催だった。

午前8時30分、担当幹事7名が大限庭園に設営されたテントに集合し、青年部会若手(酒井さん、佐伯さん、村本さん)も集まって当会恒例の「焼き鳥屋」開店の準備を始めた。午前10時、横田会長、島田幹事長他の幹事たちも三々五々集まり、しとしと降る秋雨を恨めしそうに見上げていた。



雨の稲門祭

販売お手伝いの女性陣(鷺巣さん、田波さん)も集合し、10時半に開店となったがお客さんはまばらだ。気温は15℃と肌寒いくらいなので、「冷たいビール」は売れ行きが悪い。いつもなら庭園内で行われる

イベントを大勢の観客たちが芝生に座ってビールを飲み焼き鳥をつつきながら見ているのだが、今日は全く見えない。4年前の暴風雨の中での稲門祭を思い出す。



Na Pua O Ka Hoku フラダンス

小雨の中で決行されたフラダンスをする小さな女の子が寒そうだった。

それでも何とか売り上げを上げようと、近くの他稲門会模擬店の人たちと雨を嘆きつつ必死の呼び込みをする。ビールは2日前に数量変更が出来て600本↓120本と大幅に仕入れを減らし、何とか完売となった。焼き鳥は準備の都合上10日前に900本と確定しており、減らすことができなかった。しかし昼頃から少し小降りになり、幹部4名の大量購入や幹事の皆さんの積極的な購入協力?によりこちらも完売となった。

(榎並 俊一/記)

# ロス・ポジートスによるタンゴを堪能 納涼会・青山アイビーホールにて

平成29年9月2日(土)正午から、青山「アイビーホール」にて納涼会が開催されました。参加者は来賓を含めて120名でした。

和洋のコース料理に舌鼓を打ちながら、ワイン・日本酒などのお酒も進み、楽しく歓談しました。

開会前の11時から、レディースクラブ・地域サポート活動部会・千歳会・さくら会の共催でバザーが開かれ、有志の方々から提供された品物が並べられ、多くの皆様にお買い上げをいただきました。

その後、世田谷稲門会イベント初の本格的タンゴバンド生演奏とプロのダンサーによるダンスパフォーマンス・タイムとなりました。

早稲田大学の伝統ある「オルケスタ・デ・タンゴ・ワセダ」出身の8人による、タンゴバンド「ロス・ポジートス」のアルゼンチンタンゴ14曲とタンゴ独特の華麗なステップのダンス3曲を堪能しました。

鈴木宏治副会長(千歳会)の総司会により、正午に開会。はじめに、来賓として、杉並稲門会の久保田会長・笠原幹事、中野稲門会の高田会長・武田副会長・小柴副会長兼幹事長・笹田副幹事長・赤羽根幹事、大田稲門会の佐藤副会長、世田谷三田会の横山事務局長が紹介された後、横田吉明会長の挨拶・乾杯により食事と歓談に入りました。

ポピュラーな「ミニット」の日本語歌詞をリーダーの



乾杯の挨拶、横田会長



司会の鈴木副会長



アルゼンチンタンゴ



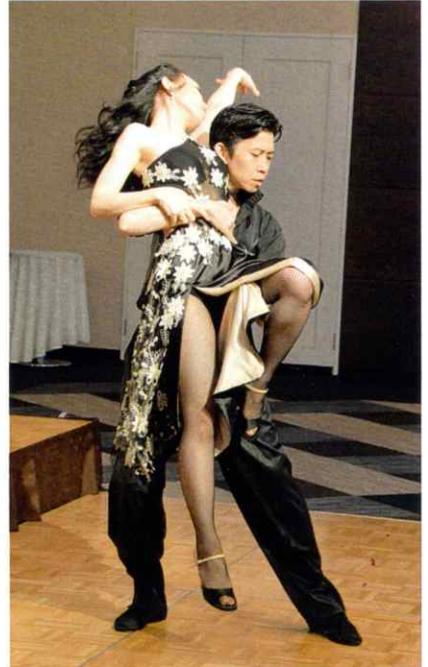
▲ロス・ポジートス  
▼アルゼンチンタンゴ

指導のもと全員で合唱したり、ブラボの声によるアンコールで、なじみの深い「ラ・クンパルシータ」とダンスが特別披露されるなど、大変盛り上がりしました。



締めの上原さん

最後に、江原利次さんから代表世話人のリードで校歌斉唱のあと、早稲田に続き慶応へのエールを行いました。世田谷三田会の横山事務局長から返礼のエールもあり、盛況のうちに閉会となりました。  
(戸田 昇/記)



120名の観客



バザー

校友会コンペで快挙

平成29年11月2日(木)、快晴の中、久邇カントリークラブにおいて早稲田大学校友会ゴルフ大会が開催された。総勢188名という大コンペで、世田谷稲門会からも2チーム(8名)が参加した。

高速グリーンに悩まされながらもなんとか18ホールを回り切り、新ペリア方式での表彰を待った。

結果は4人一組の団体戦で世田谷Aチームが7位という好成绩だった。また、個人戦では世田谷Aチームでプレーした宮坂尚利さんが見事優勝を勝ち取った。グロス93で新ペリアの隠しホールを見事に征服しNET69(3アンダー)という成績だった。



A: 宮坂尚利、桃井清治、旭忠勝、榎並俊一  
B: 横田吉明、小倉康弘、竹入啓子、林馨

(榎並 俊一/記)

ジャズを楽しむ



平成29年9月17日(日)、午後6時より早稲田のリーガロイヤルホテルにて早稲田大学ニューオーリンズジャズクラブ創部60周年記念コンサートがありました。

当会からは露木茂さん(昭38政経)が総合同会で、寺島邦夫さん(昭38政経)と中島史郎さん(昭59法)がバンドメンバーとして参加しました。また、観客として横田会長以下17名が参加いたしました。

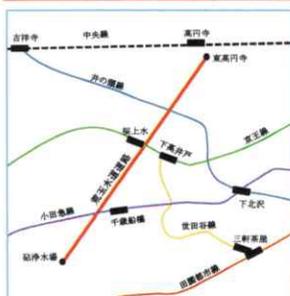
2会場に分かれて食事しながら、17バンドチームによるトラディショナルジャズ、スイングジャズを楽しみました。また、途中でプロになられた方々の演奏がありました。レベルが高く、お値打ちのものでした。現役学生、OB・OGによるブラスバンド、聖者の行進の演奏によるファイナーレも、大変盛り上がりしました。

(中島 史郎、榎並 俊一/記)

世田谷ぶらさんぽ

第7回

荒玉水道道路



荒玉水道道路



直線の荒玉水道道路

ご存じだろうか。東京都内でも珍しい約9kmの直線道路が杉並・世田谷にある。杉並区高円寺から世田谷区の喜多見に至る「荒玉水道道路」である。正式名称は「東京都道428号高円寺砦浄水道線」という。「荒」は荒川、「玉」は玉川すなわち多摩川を指している。1934年(昭和9年)に竣工した。道路下には水道管が埋設されており、大型車の通行が制限されている。

東京メトロ丸の内線の東高円寺で下車。蚕糸の森公園を通り過ぎて環状八号線を渡る。少しわかりにくい左手のビルの裏に始点がある。高円寺地区区民センターの脇を通過して、しばらく行くと堀之内斎場が右手に見える。修行寺など寺が散在する。若干アップダウンはあるが、ここからはほぼ直線である。善福寺川を渡ると右手奥に杉並区郷土博物館がある。さらに歩くと大宮八幡前交差点があり、右手奥に大宮八幡宮があるのでお参りするもよし。さらにひたすら歩くこと数十分、神田川を渡ると甲州街道である。

すぐに京王線の桜上水駅を横断する。残念ながらこの辺だけ直線から外れてしまっている。さらに住宅街の中を通過し、時々農園などもあつてのどかな風景が続く。有隣病院の建物が右手に見えると千歳船橋周辺である。環状八号線を横断するとやがて野川を渡る。日大砦キャンパスがあり、この辺りは緑が多い。ほどなく終点の砦浄水場である。ここから多摩川は目の前なので、多摩堤をゆったりと散歩するのも良い。多摩堤通りを歩いて帰りは田園都市線二子玉川駅だ。

【アクセス】東京メトロ丸の内線東高円寺駅、京王線桜上水駅、小田急線千歳船橋駅、田園都市線二子玉川駅



大宮八幡宮



世田谷農園



野川

## ブロック会だより

### 西北

#### ○第3回西北会・けやき会合同懇親ゴルフコンペ実施

平成29年10月24日(火)武蔵松山CCにてゴルフコンペを実施。3回目となった西北会・けやき会合同による懇親ゴルフ会。今回は西北会主催。台風一過ですがすがしい気持ちでゴルフを楽しむ予定が関越自動車道で事故渋滞に巻き込まれ難渋。しかし、ほぼ定刻通り皆さん元気にスタート。4組15名で新ペリア方式にて熱戦を展開。コースコンディションは台風、数日の大雨で心配されたが特に問題なし。しかし、池やバンカーが多くまた難しいグリーンは相変わらず。



結果、優勝は宮坂尚利さん、準優勝は旭正勝さん、3位は森昌治さん、ベストグロは旭正勝さんがそれぞれ獲得。パーティーでは受賞者全員のスピーチに湧き上がり和気藹々のうちに散会とした。

#### ○今後の予定

平成30年1月第1週 初詣&新年会 場所：北澤八幡神社他

(桃井 清治/記)

### キャロット

来年(平成30年)の8月末または9月上旬に世田谷稲門会の納涼会をレディースクラブ、地域サポート活動部会と共催でキャロット会が企画・運営することを9月11日(月)の幹事会で決定されたことを受け、9月24日(日)キャロットタワー3階の生活工房で世話人会を開催しました。

納涼会なので出来るだけ涼しい企画にしたいと思います。また、このところ大きな会場に120名近く集まる企画が続いていますが、もう少しコンパクトにして気楽に会員が参加出来る企画にしてはどうかなど、いろいろ意見交換を致しました。

来年の納涼会に関して会員の皆様のご要望がございましたならば、是非富塚宛Eメール、ファックス、お葉書等でお知らせ戴ければ幸いです。

また、12月9日(土)、正午からキャロット会の総会・忘年会を銀座アスター三軒茶屋賓館にて開催致します。(会報発行時には開催済み。詳細はHP参照)

(富塚 兆彌/記)

### 千歳

平成29年の第2回目の懇親会を11月29日(水)午後6時から、京王線仙川駅・安藤忠雄ストリート沿いの「ピストロ西山亭」にて開催しました。最近土曜日に施設見学やウォーキングの後、懇親会を行うことが多かったのですが、今回は平日の夜、懇親会のみで開催となりました。

本部から島田幹事長、林事務局長、9月の納涼会を共同で企画運営した「さくら会」から江原代表世話人、矢後幹事にもご出席いただきました。

鈴木代表世話人の司会により開会。会員トークとして、西田昌子さん(昭41教育)から「アジア系の留学生を対象に、大学・専門学校進学を目的とした日本語学校での授業」というテーマで興味深いお話をいただきました。

稲門祭記念品購入について目標額達成の報告とお礼、新春懇親会案内などの事務連絡の後、食事会に入りました。おいしい料理を味わい、ワインなどを飲みながらの歓談に花が咲きました。

盛況のうちに、校歌斉唱にてお開きとなりました。

(戸田 昇/記)

### きぬた

同封の25周年記念誌でお判りの通り、世田谷稲門会は諸先輩方が約四半世紀前に興され、その後の諸先輩方のご尽力により大きな組織に発展させて今日に至っております。

私が参加致したのは平成3年の夏の会でしたから、多分納涼会だったと思います。右も左も存じ上げない方ばかりでしたが、たまたま隣のお席に座らせて頂きました寺澤隆夫様から親しげにお声をかけて頂き、一気に

お仲間に加われたことを覚えております。

その後も寺澤様が発起人として立ち上げたウォーキング部会に参加し、やはり寺澤様がおられた麻雀部会に加わりました。川向こうからの越境組でしたがブロックは迷わず寺澤様のおられる「きぬた会」に決めました。

その後は川村保夫様、吉村豪介様、高橋毅様の後を引き継ぎ、「きぬた会」の代表世話人を務めさせて頂いております。「きぬた会」は当初「たぬき会」と命名しようとの意見もあったと聞いております。そちらが正しかったのでは？

(國澤 俊一/記)

## 玉川

6月4日(日)正午より武蔵小杉のホテル精養軒で春のグルメ会を開催しました。玉川会では春と秋の年2回食事を開催しています。神奈川で行事を開催するのは初めての試みでしたが、会員22名、夫人5名、ご主人(準会員)1名の28名が出席しました。

昨年の1月にリニューアルされたホテルですが、宴会場の部屋を貸し切りにして、ゆったりとした雰囲気の中で食事と歓談を楽しみました。今回はスピーチが大変に盛り上がり、9名もの方から色々興味深い話がありました。

6月25日(日)に新入会員歓迎会を行いました。玉川会で昨年からはじめた行事です。午前11時30分に集合し、昨年同様奥沢のフレンチ&イタリア料理の木畑亭を使用しました。

昨年4月以降3名の会員を迎えています(内1名は休会からの復帰)、昨年欠席だった1名を加えた4名の内、入会順で山本堯さん、小原祐樹さん、清水正己さんの3名が出席。世話人からは真木代表世話人以下7名が出席しました。お互いに初対面の方もいましたが、既に行事に参加している方もいたこともあり、打ち解けて、楽しく有意義な時間を過ごすことが出来ました。

(太田 隆/記)



カラオケを楽しむ会

## さくら

平成29年の納涼会はさくら会及び千歳会の企画により青山のアイビーホールで開催されましたが、参加される皆さんに十分に楽しんでもらえる納涼会にしようとする事前の打ち合わせを何回も行い、タンゴバンドによる演奏とダンスを採用する事にし、料理も満足のいく和洋コースと飲み放題を提供する事に決めました。しかしこの企画にかかる費用をカバーするには120名の参加者を確保する事が必要となり、会員は元より家族、親せき、友人達へも広く呼びかけて何とか目標を達成する事が出来ました。

なお、参加された沢山の方々からタンゴの演奏と料理がとてもよかったとお褒めの言葉をいただきました。同時に開催されたレディースクラブのバザーへの出品に対しては、さくら会も予備費の中からコーヒー、紅茶、地方の名産品等をデパートで購入して協力させていただきました。今年の納涼会への皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。

(江原 利次/記)

## けやき

けやき会では現在、年3回の懇親会を開いています。2013年度までは総会、夏、秋の懇親会、新年会と年4回でしたが、本部の新春懇親会や総会、納涼会、稲門祭にも出席していただきたいので、2014年度から年3回と回数減らし、その分内容を充実させていくという方針に致しました。

総会の議事は簡単にして講話やアトラクションなどを楽しみます。講師と出演者は他のブロック会の会員などのご協力も得ながら、早稲田卒の方をお願いするようにしています。2回目の懇親会は大体、夏から秋に少し世田谷を離れて「行動するけやき会」をめざして、季節を感じる魅力的な場所や味を探訪するように心がけています。

3回目として、12月には忘年会を開きます。この回はどなたにも参加していただけるように、味が良く区内でアクセスの良いバリアフリーのお店を探します。今年は「松陰神社界限散策と手打ちそばの名店を訪ねて」という企画で、世田谷通り沿いの「蕎麦石はら」を選びました。歩くのが億劫、という方は直接お店に来ていただきます。年越しそばにはちょっと早いのですが、美味しいおそばをいただいてこの一年の無事を感謝し、今年の締めくくりにしたいと思います。

(井上 文/記)

## 特別部会だより

### 地域サポート活動

地域サポート活動部会では、ほぼ毎月例会を開いています。話題はやはり子供たちの貧困の事、行政の支援、こども食堂のような民間ボランティアの活動等々、時には脱線する事も有りますが…。

私たちにできることは何なのか、何が本当に貧困に苦しむ子供たちの役に立つのか、それが一番の問題点と思っています。

子供たちにとっての問題は、単に金銭的な事には限りません。きちんとした家はあるけど、学校から帰っても親は不在、お金が置いてあってそれで夕食を食べなさいというのは幼い心を荒ませる大きな要因となる恐れがあります。勿論ひとり親であれば当然親は働かなくてははいけませんし、金銭的にも苦しくなります。

「学校が終わってから親が帰ってくるまでの間」というのが、一つのポイントです。こども食堂『みっと』では、ボランティアの学生さんたちが一緒に遊んだり、勉強をみたりしています。私たちにできることは…例えば〔読み聞かせ〕：面白そうな話を子供たちに読んで聞かせる。〔夏休みの工作〕：キットで売っているものではなく手作りの部品材料で工作をする…等々。皆様からお預かりしたお金を有効に使うのは勿論ですが、お金以外にも何かできることは無いか、考えています。

なお、これまでの寄付分を差引き募金残額は10月16日現在合計 555,128 円となっております。(林 馨/記)

### レディスクラブ

レディスクラブは、9月9日(土)、午前10時から下北沢タウンホール12階スカイラウンジにおいて、講座『円満な遺産相続のために』を開催しました。参加者26名。うち男性15名。ご夫婦での参加が2組あり、関心の高さがうかがえます。これは昨年開催し好評だった『老後の備えとは』に続くパートⅡとして企画したものです。講師は昨年引き続き、さくら会会員で不動産鑑定士の中村京さん(昭58法)。昨年のアンケート結果などを反映させさらにバージョンアップした内容となりました。



今回は老後の財産管理などが中心でしたが今回は一歩踏み込んで、相続対策が中心です。遺産分割の流れや遺言書のメリット、遺留分の扱いなど、講師の実体験をふまえた具体的で丁寧な講義に参加者は全員熱心に耳を傾けていました。とりわけ、「まずは身の回りの財産の整理をすることが大切」という最後のまとめには一同深く頷いていました。(篠崎 章子/記)

### 青年

7月7日(金)に薦田世話人の発案で『鳥に願いを』と題して、中目黒の「丸焼きチキン酒場ブーレドール」で例会を開催しました。14名が参加し、七夕伝説に思いを馳せつつ、美味しい丸焼きチキンとともに賑やかなひとときを過ごしました。次回の例会は、11月28日(火)に淡島交差点近くの「あおい食堂」にて立食パーティー形式で行う予定です。20名を超える参加者が見込まれ、住宅街にある隠れたフレンチの名店で、美味しい食事を堪能しながら、秋の一夜をワイン片手に語り合いたいと思います。

青年部は、現役で仕事をしている異業種のメンバーが年3回程度集まり、楽しく交流しています。年会費はなく、飲み代を払うだけで例会に参加できるというシンプルさが魅力です。現役で仕事をされている「青年の心を持つ」皆様、一度例会に参加してみませんか。お待ちしております。(中島 史郎/記)



## 趣味の部会だより

### ゴルフ

平成 29 年も早くも終わろうとしております。ゴルフ部会では今年も例年同様に 4 回のコンペを開催する予定でしたが、今年 3 回目となる 10 月 19 日(木)に予定していた都留カントリークラブでのコンペは大雨のためやむなく中止といたしました。高齢者の多い世田谷稲門会ですので、気温低下で体調を崩しては元も子もないという判断でした。組数の多いコンペの開催直前での中止はいろいろなリスクが伴うので主催者側が大変ですが、良い決断だったと思います。今年最後のコンペは 12 月 5 日(火)に桜ヶ丘カントリークラブで開催します。(この会報がお手元に届く頃には既に開催済みとなっているはずですが、詳細については世田谷稲門会ホームページでご確認ください。)

長年代表世話人として引っ張ってくださった青木誠司さんと、会計担当世話人として面倒をみていただいた桃井清治さんが今年度で世話人を退くこととなり、来年度からは代表世話人として榎並俊一、世話人として戸田昇さん、刀根秀己さん、小林宏さん、監査役として井口昭さんが担当いたします。ゴルフ部会を今後ともよろしく願います。  
(榎並 俊一 / 記)

### カラオケ

■100 歳めざす<月例会>毎月第一土曜日午後 1 時～ 5 時ビッグエコー下北沢南口駅前店。第 124 回 7/1 (13 名)、第 125 回 8/6 (12 名) 納涼会・千歳船橋マダムチョウの店 (写真)、第 126 回 9/2 (12 名)、第 127 回 10/7 (19 名)

■納涼会<リクエスト曲抜粋>♪麻生久江 (恋心 / 岸洋子)・上田 緋佐子 (二人でお酒を / 梓みちよ)・薄井好雄 (好きになった人 / 都はるみ)・小倉康弘 (ふれあい / 中村雅俊)・河内文雄 (白い海峡 / 大月みやこ)・倉田 政子 (Dream / 吉幾三)・倉田 豊 (SWEET MEMORIES / 松田聖子)・小池早苗 (桜貝 / 五木ひろし)・斎藤治雄 (憧れのハワイ航路 / 岡晴夫)・豊田恵之助 (黄昏のピギン / 水原弘)・内藤娃子 (ラブイズオーバー / 欧陽菲菲)・横山徹 (難破船 / 中森明菜)・全員 (都の西北)♪  
(倉田 豊 / 記)



### ウォーキング

7 月 16 日(日)、小田急線の参宮橋駅午後 1 時に 15 名が集合、当日世話人の松尾守さんの案内で明治神宮の苑内散策に出発。御苑のコースは深い緑に囲まれて夏の猛暑も和らぎ、今を盛りの花菖蒲田は内外から沢山の観光客で溢れ、武蔵野の里山の面影を留める明治神宮は大都会の中のオアシスとして高い評価を得ているのが良く判りました。若者達の人気で大変な人混みの原宿を抜け青山通りを経て渋谷の宮益坂へと歩きました。

9 月のウォーキングは残念ながら雨天のため中止となり、予定されたコースは来年度に再挑戦します。

10 月 8 日 (日)、世話人の熊本ちづるさんの案内で、軍港めぐりクルーズに参加するため京急線横須賀中央駅に 17 名が参加。乗船前の昼食時に名物の横須賀海軍カレーを楽しみました。本番の軍港クルーズは午後 1 時に乗船し日米の軍艦を間近に眺めながら、イージス艦や潜水艦、護衛艦等の最新設備の説明を聞き海国日本の守りの素晴らしさに興奮のひとつ時を過ごしました。横須賀駅まではアメリカ駐留軍の雰囲気漂うドブ板通りを散策しましたが、まだまだ見所の多い横須賀へは再度訪問したい名残りと共に終了となりました。  
(江原 利次 / 記)



### スポーツ観戦

東京六大学春季リーグ戦を 4 位というふがいない順位で終わった反省から今季は「守り勝つ」という土台作り明け暮れた夏合宿。夏季オープン戦 10 試合を 7 勝 1 敗 2 分けでのりきった。核となる投手が複数そろい安定した投手陣を軸に 4 季ぶりの賜杯奪還に挑む今シーズンである。ただ、心配なのは若干ケガ人が多い事だ。

(小林 昭一郎 / 記)

## 囲碁将棋

世田谷稲門会囲碁部は、今年最後の定例一泊碁会を10月初旬、用賀駅から徒歩15分の「ふじみ荘」にて行いました。今回は参加者が8名でしたが、杉並と中野からも参加していただき、たいへん楽しい会となりました。次回は1月20日(土)を予定しています。

11月5日(日)には、中野稲門会より囲碁部発足二十周年記念囲碁大会への参加を要請され、池松・田中両八段が最高クラスで一、二位となり、面目躍如といったところでした。(池松 正之/記)

## 芸術芸能鑑賞

鑑賞部会発足10年を迎えた。歌舞伎・落語・文楽・演劇・各種の音楽会を案内してきたが、三越落語会の人気が高く、毎回多くの参加者を数えている。特に今年は三越劇場開場90年を迎え、特に落語会は600回記念でもあり、11月8日～10日の三夜連続での興行で、延べ30人以上の参加者が、一流の落語家の「芸」を楽しんだ。また、今年からは新春懇親会で公演頂いた女流狂言師「三宅藤九郎・和泉淳子さん姉妹」の定期公演を定期的に案内したい。尚、音楽関係ではポピュラー音楽関係の会場が相次ぐ改修・改築が多く例年の開催が中止となっている例が多い。

(鈴木 宏治/記)

## 俳句

平成29年7月24日(月)桜新町区民集会所にて開催の句会は兼題の『祭』と季節に相応しい自由句3句を持ち寄り午後1時より行われました。句会終了後は桜新町駅前のカフェにてささやかな暑気払い懇親会を楽しみました。

8月は夏休みとなり、9月25日(月)開催の句会は、兼題の『秋の夜』と自由句にて開催されました。10月23日(月)開催の句会は兼題の『新酒』の俳句に挑戦する予定でしたが、大型台風の襲来で残念ながら急遽中止となりました。

(江原 利次/記)

風となり川を越え来る祭笛	まもる (松尾 守)	秋の夜親が伝へる針仕事	上馬の (暮田忠雄)
釜の蓋鬼の開けたる酷暑かな	利水 (江原利次)	秋冷や庭の木陰に石の椅子	広 (矢後勝洋)
古里に着けば鎮守の祭笛	たかニ (荒居隆二)	秋の雲泡立つ波に大漁旗	恵那 (榎並俊一)
潮の満つ千瀉の菫大暑かな	勝 (田中 勝)	両手上げ眠りし猫や秋の夜	兆弥 (富塚兆彌)
三国を統べて峠の鯛雲	雪子 (家井雪子)		

## 釣り

6月25日(日)、川崎つり幸より中アジ釣り3名参加。鶴見、横浜沖で釣るも小型が多かった。東京湾のアジは、味が近海の魚より美味。我々は10～20匹であったが、竿頭100匹以上。

7月22日(土)、大井ふ頭夕焼けなぎさにハゼの試し釣りに柴田単独釣行。9～11cm入れ食いであった。磯場は型が良いが足場が悪く、当日も転倒し左足裂傷し、37匹で納竿。

8月20日(日)、つり幸より中アジ釣り5名参加。國澤さん30匹。船竿頭83匹。

8月28日(月)、京橋新世界に9名参加の納涼会。寺島さん、中村さんのアラスカ釣行の話で盛り上がる。キングサーモン等大型大漁とのこと、皆をうらやましがらせた。

8月30日(水)、大井ふ頭夕焼けなぎさで清水さんと竿を出す。偶々名人と会うことができ、ボイルホタテ餌の見釣り釣法を教わる。彼は朝1時間半で30匹は釣っているが、我々には難しい。その後、一緒に釣行したが釣れず、地元名人に30匹ほどいただいた。

9～10月の沖釣り例会はいずれも台風とぶつかり中止。11月23日に期待。12月から金沢八景より美味しく釣れるイシモチ釣りが始まる。冬のイシモチは真鯛同様の美味であり、船宿も小生が60年利用している「新健丸」で、竿・仕掛無料である。(柴田 昇/記)



アラスカ釣行の寺島さん

## 麻雀

麻雀部会は現在55名の会員で、月一回の定例大会と毎週水曜日の懇親麻雀会を用賀駅ビルの「鈴家」で開催しております。これまでの会報にて月例大会の戦績を度々お伝えしておりますが、昨年度初めて一年間の戦績を纏めてみました。それによりますと、上位の入賞者は誰もが認める方々で固定しているように思われます。これ

ら4、5人の横綱級の方はめっぽう勝負強く負けるときにも大きく点を減らすことはありません。

麻雀はゴルフのようなハンディキャップ制がありませんので直に実力の戦いになりますが、更に複雑にしているのが4人での対局です。強者ばかりに注意していると他の方に振り込んだりして痛い目に遭います。

それでは何故ハンディキャップもなく何時も強い人が勝つゲームに参加するのかとお思いでしょうが、それは高得点の手役が完成してラッキーにも、たまに筆者でも勝つことがあるからでしょう。(國澤 俊一/記)



## 食べ歩き

第73回食べ歩き部会は、平成29年9月30日(土)、竹葉亭本店にて開催された。竹葉亭本店は幕末創業の老舗であり、銀座8丁目にひっそりと佇む趣のある建物で、中に入ると座敷の部屋で懐かしい感じの古き良き時代を彷彿とさせる贅沢な空間である。江戸前のうなぎを代表する名店であり、若干辛口のすっきりとしたタレで評判通りの美味しさであった。出席者46名で、今回は二部屋に分かれての開催となった。

冒頭、竹葉亭本店のおかみさんからのご挨拶があり、関根昌一氏の乾杯の音頭で会がスタートした。中井代表から、昭和20年代卒業の大先輩が8名もご参加いただいていることが紹介された。上田忠雄(S26 理工)氏、奥田隆(S28 文)氏、小倉康弘(S26 理工)氏、郡山弘文(S27 商)氏、関根昌一(S23 法)氏、辻村ひろみ(S29 教育)氏、前原祖彦(S25 理工)氏、保倉進(S25 法)氏の8名です。

皆様とてもお元気で、「食べ歩き部会を生き甲斐にしている」「食べ歩き部会は非常に面白い」「皆に会えるのが楽しみになっている」などのコメントを頂きました。今回は歓談を中心とした会となり、楽しい時間を過ごした後、薄井好雄(S47 商)カラオケ会世話人の指揮により全員で校歌斉唱をして散会となった。

次回は12月18日(月)六本木の中国飯店にて開催予定。

このように食べ歩き部会は非常に楽しい部会でありますので、たくさんの方に是非入会していただきたいと思っています。(大山 毅彦/記)

## 写真

写真部会は2003年4月に発足し、今年で15年目になりました。スタート時は世話人会を作り、4名で会を実行致しました。しかし15年経った現在では機能を発揮しない状況になりました。

11月1日に趣味の会の代表者が集められ、「部会運営に関する指針」が打ち出され、説明がありました。その指針に従い11月16日(木)の例会で改めて世話人会を作りました。4名選出しました。代表は私が続けて進める事になりました。

今回特に必要だったのは「広報担当」でした。それと活性化です。写真部会に参加の皆さんはレベルがどんどんアップしていて、毎回の例会は自分の世界の作品をたくさん披露されます。しかしもう少し部会主体の撮影会等も行って、新しく入会される方の参考になる撮影技術向上の助けになるように改善します。会報にはこれからも会員の作品を掲載してゆきますので、ご期待下さい。(種谷 鴻成/記)

## 世田谷稲門会 会報およびホームページへの投稿募集

年3回発行している会報の「サロン・せたがや」ページでは会員の皆さんからの自由なご意見やお知らせなどをいただき掲載をしております。また、世田谷稲門会ホームページは随時更新しており、最新の情報をお届けできるよう心掛けております。ブロック会や部会の報告だけでなく個人的なお知らせなども「最新ニュース」のページに掲載しております。投稿は下記へお願いいたします。

### 【原稿送り先】

榎並 俊一(えなみ としかづ): 世田谷稲門会 副幹事長 兼 広報 HP 統轄幹事  
〒154-0004 世田谷区太子堂 5-17-3 (但し、来年2月には転居予定です。)

TEL/FAX 03-3414-6587 E-mail enasan\_1948.2.19@kbh.biglobe.ne.jp

世田谷稲門会 HP の URL : <http://setagayatou.mond.jp/>

# 会員の広場

## 旧街道ひとり歩き

山本 堯 (昭39商)



勇躍日本橋のたもとを出発。初めは一日にどれくらい歩けるのか自信が無く、半日で平地を8〜10Km程度を目標にしました。その後歩きを重ねていくうちに次第に脚が元気になる。最近では山坂道で20Km、平地30Km程を楽しく歩けるようになりました。

70歳を過ぎて仕事を辞め、まとまった自由な時間が手に入りました。カミさんは既に他界していて、さて何をしようかと迷っていた頃、今までの度々ドライブして来た街道筋を一人で歩くことが頭に浮かび、まず思いついたのが、江戸時代に整備された五街道です。旧街道には、皇族、武家から庶民に至る大勢の人々が行き交った歴史の積み重ねが感じられます。

スタートは全て日本橋から。江戸時代の旧街道は現在の街道と重なる場所もあります。が、かなり離れた山の中にそのまま残っている道もあります。

手始めに、色々と変化に富んでいそうな中山道を選び、

マに話が弾み、英語に苦戦しながらも賑やかな夕食になったこともありました。また、街道見物に興味はあるものの歩くのはゴメンと言う友人達はクルマで移動し、中山道の終点の京都・三条大橋や、日光街道の東照宮で私を迎えてくれ、祝杯を上げてくれたりしました。

一人歩きの醍醐味は、歩く速さや休憩の頻度、ゆっくり観たいところや宿屋等、全てマイペースなところです。泊まれば地元の肴を摘みながら地酒も楽しめます。想定外の出来事もありました。たまたま中山道の妻籠の民宿に泊まった夜、浴衣がけで食事処に行くと、同宿の客5人全員が、木曾路を歩きに来てくれるオーストラリア人仲間、和食と美味しい日本酒をテ-

しかし楽しいことばかりではありません。国道で歩道の完備している所は限られていて、すれ違う大型トラックの風圧に煽られたり、山道では熊出没注意の看板にビクッと、急にヤブの中から飛び出したイノシシの親子連れに遭遇し、何度もヘビ(青大将?)を踏みそうになったりしました。



## ワセダ 祖母 孫娘

富永 孝子 (昭30文)

「バアバ、あたしワセダも受けるわ」

「エッ、あなたがワセダを...」  
「だってワセダは人気ナンバーワンよ」

「へエ、あなたがワセダに入ったら、そりゃあ、バアバうれしいわ」

この間幼稚園に通っていた気がする孫娘が大学進学という。女学校育ちの彼女のワセダ志望は意外だった。

昭和26年、私がワセダに入学した頃の巷は、まだ「戦後」だった。少数の女子学生は異端視された。ある日、階段を降りていると「オイ、メス、ドケ」と怒鳴られた。驚いて振り向くと襟章のない軍服を着た人だった。立ちすくむ私に「復員兵だよ。学生に戻ったばかりでまだ気が立っているんだ。許してあげなさい」と声をかけてくれた人がいた。

私はその先輩を見上げ、頭を下げた。「ワセダっていいな」と思った。先輩はオジサンに見えた。

女子学生は徐々に増えた。

同28年頃から学生運動の風が吹き荒れた。ノンポリ学生の私だったが、三年生後半から卒論に取り組んだ。それが思わぬ評価を受けて雑誌に掲載され、学生生活の掉尾を飾った。多くのすばらしい友人たちに恵まれ、ワセダは私の青春の港になった。

同30年卒業時、社会は女性の進出に冷淡だった。私が、ラジオ局でのアルバイト、雑誌記者を経て、開局前のテレビ局に入社したのは3年後。配属された営業部は寄り合い所帯の熾烈な男の戦場だった。3年間揉まれ、出産のため退職。女性の就労規則など皆無仲間に迷惑はかけられなかった。

1年後、再び局から出版社の条件で招かれた。番組企画、台本構成、解説記事等を書き七十歳になった。企業の立ち上げから約半世紀の成長過程を観察できたのは貴重な体験だった。

以後、もの書きに専念、単行本5冊を出版、八十六歳になった。生きてきた昭和の落穂に体験を重ね、テーマとした。日・中・独を脚で回る莫大な取材費は出版社分では足りず、テレビ時代の貯えを使

い尽くした。社会はいつの間にか女性に追い風が吹いていた。仕事で出会うワセ女の活躍は目ざましく頼もしい。

先日、ワセダを訪れ仰天した。アメリカの大学を凌ぐほどの校舎、充実した設備。卒業まで女子トイレさえなく、寒さにふるえた昔の教室をなつかしく想い出した。

孫娘の部屋に遅くまで灯が点っている。

「バアバが何か役に立つことはないのー」

「バアバは元気で長生きしてくればそれでいいの」

祖母は孫娘とあの時計台を仰ぐ日を夢見ている。夢に終わったとしても――。



# サロン・せたがや

## 「シルバー川柳」



桃井 清治（昭44政経）

終戦直後に生を受け、戦後復興、高度成長、オイルショック、バブル崩壊等々、浮き沈みの多い時代を経験して6回目の西年を迎えました。70歳代はまだまだ老い込む歳ではないと思いつつ、これからの人生（余生ではない）をいかに有意義に過ごすかを思索していた頃に、ある本で「シルバー川柳」なるものが目に入った。どれもこれも身につまされるような秀逸なもので、昨今人の名前がなかなか出てこないなど自分もやはり歳なのかなと思われました。

さて、年輩の会員の皆さま方にはどう感じられることでしょうか。思い当たる節がなければ幸いです。何点かご紹介します。

- ・ 誕生日 ローソク吹いて 立ちくらみ
- ・ 立ち上がり 用を忘れて 立ち尽くし
- ・ 探し物 やつと見つけて 置き忘れ
- ・ 90才 過ぎても気にする 産地どこ
- ・ 手をつなぐ むかしはデート いま介護
- ・ 検査あと 妻のやさしさ 気にかかる
- ・ 動かない エレベーターよ 押し忘れ

## 時事川柳（平成29年10月末作句）

大内クレーム子

- 一、「霞が関でお待ちします」と安倍総理
- 二、この大勝「北のお陰」と副総理
- 三、希望の字「野望」に見えたぜ小池さん
- 四、選挙終え肩で風切る自民党
- 五、一強は日本だけではないけれど
- 六、貴女にはまだ知事の椅子在るけれど
- 七、カタルーニアの動き見つめる翁長知事
- 八、量減らし値上げ誤魔化す憎い業者
- 九、馬に乗り「愉快、愉快」と天に去り

一句||日米両首脳が先ず霞が関カントリー倶楽部で懇親ゴルフ。

二句||自民圧勝で麻生発言。

三句||希望の党が野望の党か？

四句||改憲に一步前進か。

五句||お隣の二国も一党独裁政権。

六句||小池代表の側近で落選し政界引退する若狭

勝氏の吹き。

七句||スペインの分離独立紛争と沖縄の基地紛争。

八句||値上げ代わりの量目減らし横行。

九句||巨泉のクイズダービーの愉快な回答者・篠

沢秀夫教授逝く。

（大内 秀行ノ記）

世田谷稲門会 会員異動状況 平成29年10月31日現在

〔新入正会員〕 個人情報につき不掲載

氏名	卒年	学部	郵便番号	住所	電話	ブロック会
桑野 雄一郎	平03	法				キャロット
檀原 由樹	昭53	法				千歳

〔退会会員〕

氏名	卒年	学部	備考	ブロック会
田中 耕作	昭22	商		西北
山田 栄一	昭35	商		西北
小林 浩	昭49	理工		玉川
窪田 恵一	昭34	商		きぬた
荻須 吉洋	昭40	理工		千歳

〔退会準会員〕

正会員名	準会員名	備考
加藤 隆夫	加藤 玲子	

〔住所変更・訂正〕

氏名	卒年	学部	郵便番号	住所等	電話	ブロック会
日下野 由季	平14	文				

〔その他変更・修正〕

氏名	卒年	学部	修正箇所			
			メールアドレス	電話	FAX	その他
井澤 貞夫	昭35	理工				
井澤 美知恵	昭38	文				
奥田 次郎	昭58	理工				
秋山 多美子	平01	教育				

事務局からのお願い;

会員みなさまの入退会はもとより、転居の場合は郵便局への届け出だけではなく、世田谷稲門会事務局にも忘れずにご連絡ください。また、電話番号、e-mailアドレス、ブロック会の変更、名簿の修正事項も事務局まで必ずご連絡ください。

事務局担当 篠崎 章子 電話 03-3305-4650

e-mail: shinoshoko@gmail.com

世田谷稲門会ホームページ URL  
<http://setagayatou.mond.jp/>

編集後記

本年めでたく創立二十五周年を迎えた世田谷稲門会。この会報も今号で六十六号を数え、こちらも二十二年を迎えました。年々紙面は美しく、内容も充実してまいりましたが、常に心掛けたいたのは、皆様に楽しく読んでいただけるように、ということなのです。

そこで六十、四号から、投稿欄「サロン・せたがや」を設けました。今号は俳句部会の秀作と並ぶ、洒脱な川柳の登場です。会報をよりフレッシュなものにするため、皆様の肩肘はらなご投稿をお待ちいたしております。

十月十五日の稲門祭は残念ながらお天気でしたが、高田馬場からのバスの中は、卒業以来初めて大学を訪れるというホームカミングの参加者の熱気がムンムンで、「心のふるさと」の存在の大きさを改めて実感しました。

世田谷稲門会の焼き鳥とビールが今後も祭りに華を添えていただきたいと思ったことでした。

(兼子 信子/記)